



USBレーザーリーダー Stream7-USB ユーザーズマニュアル



商標について

Microsoft、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

正しく安全に お使いいただくために

弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前にこのユーザーズマニュアルをよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。

危険

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い」内容です。



この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

<u> </u> 注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

以下の絵表示は、お守りいただく内容区分を説明しています。



このような絵表示はしてはいけない「禁止」であることを示します。図の 中に具体的な禁止の内容が示されています。



このような絵表示は必ずしていただく「強制」であることを示します。図 の中に具体的な指示の内容が示されています。



このような絵表示は注意を促す内容であることを示します。図の中に具体 的な注意の内容が示されています。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。

必ずお守りください



製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している危険、警告、 注意の表示を厳守してください。



異物を本体の内部に入れないでください。

もし本体の内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電、火災などの事故または故障の原因となります。





本製品は、その故障が直接生命を脅かしたり人体に影響のある装置(原子力核制御、航空 機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器制御など。以下『ハイセ イフティ用途』)に使用するために開発、意図、許可されているものではありません。

弊社は、本製品を当該ハイセイフティ用途に使用したことにより発生したいかなる損害に対し ても、一切の責任を負いかねます。

レーザ安全基準について

本製品はレーザ製品の安全基準(JISC 6802)クラス2に準拠しています。

最大出力:1.0mW 波長:650±10nm

クラス 2 ではまばたき等の嫌悪反応で目が保護されますが、レーザ光をのぞき込んだり直接目に入れることはしないでください。

レーザに関する警告ラベル





ユーザーズマニュアルに反した使用や、製品の分解はしないでください。危険なレーザ放 射の被ばくを招くことがあります。

製品保証について

- 1. 製品の無償保証期間は弊社出荷日より 1 年となります。ただし、無償保証期間内でも、次のような場合は 有償となることがありますのでご了承ください。なお、本製品に保証書の添付はございません。
 - ・ シリアル番号の無いものおよび確認できないもの(出荷日の管理が不可能なため)
 - マニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反する取り扱いによる障害
 - ・ 故意または重大な過失による障害
 - ・ 使用環境が所定条件から逸脱したことによる障害
 - ・ 許可無く、改造または他機器の接続、取付けを行なったことによる障害
 - ・災害、地震、水害等の天災地変による障害
 - ・ お客様の作成されたソフトウェアおよびシステムによる障害
 - ・ 使用上避けられない消耗による障害・部品交換(消耗品交換)
- 2. 製品の内容は、改良やバージョンアップなどにより、予告なく変更することがあります。
- 3. 本製品の運用の結果生じた損失については、全てに関しての責任を負いかねますので、ごろ承ください。
- 4. お買上頂きました製品をご利用頂くにあたり、下記の登録ページへのリンクよりユーザ登録をして頂くことを お奨めします。ユーザ登録は、弊社が製品の保証をするために必要なものですので、ぜひ登録をお願い致し ます。またご登録頂くことで、商品・サービスに関連した情報等をご提供させて頂きます。

http://www.welcat.co.jp/support/regist/index.htm

登録には製品のシリアル番号が必要になりますので、予めご確認ください。

目次

ヒント 目次項目をクリックすると、該当ページにジャンプできます。

レーザ安全基準について	V
レーザに関する警告ラベル	V
製品保証について	vi
目次	vii
はじめに	ix
表記上の注意	ix
第1章 お使いになる前に	
1-2 外形寸法	1-3
1-2-1 本体	1-3
1-3 読取り性能	
1-3-1 読取り深度と分解能	1-4
1-3-2 ピッチ角度	1-4
1-3-3 スキュー角度、デッドゾーン	1-5
1-3-4 チルト角度	1-5
1-3-5 湾曲	1-5
1-4 光学仕様	
1-5 その他仕様	
第2章 動かしましょう	
<u>第2章</u> 動かしましょう 2-1 接続	2-1
 第2章 動かしましょう 2-1 接続 2-2 初期設定 	2-1 2-2 2-4
 第2章 動かしましょう 2-1 接続 2-2 初期設定 2-3 基本動作 	2-1 2-2 2-4 2-5
第2章 動かしましょう 2-1 接続	2-1 2-2 2-4 2-5
 第2章 動かしましょう 2-1 接続 2-2 初期設定 2-3 基本動作 第3章 各種条件の設定 	2-1 2-2 2-4 2-5 2-5
 第2章 動かしましょう 2-1 接続 2-2 初期設定 2-3 基本動作 第3章 各種条件の設定 3-1 設定項目および初期設定 	
第2章 動かしましよう 2-1 接続	
第2章 動かしましょう	
第2章 動かしましょう	
第2章 動かしましよう	
第2章 動かしましょう	
第2章 動かしましょう	
第2章 動かしましょう	

3-2-2	読取り設定			
	3-2-2-1	読取り桁数の設定		
	3-2-2-2	読取り方式の設定		
	3-2-2-3	トリガーモード①の)設定	
	3-2-2-4	トリガーモード②の)設定	
	3-2-2-5	読取り時間の設定		
	3-2-2-6	多段読みの設定		
	3-2-2-7	ブザー音量の設定		
	3-2-2-8	ブザー音の設定		
3-2-3	通信設定			
	3-2-3-1	終端コード付加の讀	定	
	3-2-3-2	送信速度の設定		
3-2-4	連続読取り	モードの設定		
3-2-5	USB バス消	費電流の設定		
3-2-6	レーザー照	射方法の設定		
3-3 英	数字コード	表		

第4章 EAN-128読取り設定......4-1

4-1	EAN-128 読取り設定	
4-2	区切り文字の設定	4-4
4-3	出力形式1の設定方法	4-6
4-4	その他の設定	4-8
4-5	直接入力コード表	
4-6	出力形式 1 設定用コード	

第5章 定期刊行物コード(雑誌)の読取り設定	
	5-2
5-1-1 定期刊行物コードの読取り設定	5-2
5-1-2 定期刊行物コードの C/D(チェックデジット)転送設定	5-3
5-1-3 定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックス付加の設定	5-3
第 6 音 d d d d	6-1

- 第6草 13	丁	6- I	
付録1	サンプルバーコード	6-2	

はじめに

この度は Stream7-USB (USB レーザーリーダー)をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。 このユーザーズマニュアルは Stream7-USB のハードウェアとパソコンへの接続、基本的な使用方法について 説明するものです。

お客様の業務の効率化に Stream7-USB がお役に立てれば幸いです。

表記上の注意

一般	参照事項を表わします。
注意	注意事項を表わします。
Stream7-USB	USB レーザーリーダーStream7-USB を指します。



お使いになる前に

1-1 各部の名称と役割

●本体



①読取り口

バーコードを読込むための読取り口です。

②表示LED

バーコードを読んだときなどに点灯します。

③トリガースイッチ

読取りを行う時に押します。

④本体ケーブル

パソコン本体の USB コネクタに接続します。

1-2 外形寸法

1-2-1 本体





1-3 読取り性能

1-3-1 読取り深度と分解能



PCS	分解能(mm)	読取深度(mm)
	1.0	20~300
	0.5	0~200
0.9	0.25	0~120
	0.15	0~40
	0.127	0~20

1-3-2 ピッチ角度

α±35°まで読取り可能です。



1-3-3 スキュー角度、デッドゾーン

- ・ スキュー角度 β=上下 60°まで読取り可能です。ただし、デッドゾーンは除く。
- デッドゾーン
 β=上下 8°で正反射による読取り困難な領域があります。



1-3-4 チルト角度

γ=時計回り、反時計回り35°まで読取り可能です。



1-3-5 湾曲

JAN8 桁の場合 R≥15 の範囲で読取り可能です。 JAN13 桁の場合 R≥20 の範囲で読取り可能です。



1-4 光学仕様

項目	特性
発光素子	赤色半導体レーザー
発光波長	650±10 nm
光出力	1.0mW 以下
スキャン方式	往復振動型
スキャンスピード	100±20 スキャン/秒

1-5 その他仕様

	読取りコード		JAN/EAN、UPC、NW-7、CODE-39、インターリ ブド 2of5、CODE-93、CODE-128、EAN-128、 定期刊行物コード(雑誌)		
	読取り幅		175mm(分解能 0.5mm 時)		
スキャナー部仕様	読取り深度		0~200mm(分解能 0.5mm 時)		
	最小分解能		0.127mm 以上		
	走査速度		100 スキャン/秒		
	PCS 値		0.45 以上		
	光源		赤色半導体レーザー(650±10nm)		
I FD	正常読取り時		緑		
LED	初期化中/エラ-	_	オレンジ		
ブザー	バーコード読取り	時、設定時に	鳥動		
寸法	159mm(D)×56.	3mm(W)×31	.5m(H)		
重量	90g(ケーブルは)	除<)			
ケーブル長	1.5m				
落下衝撃	1.5m(コンクリート	~) ^(注)			
防滴	JIS 防滴 型準持	<u>N</u>			
	入力電源圧		DC5.0V ±0.5		
雷気的仕様	出弗雷法	読取り時	150mA (MAX)		
电次时分正常	冶貝电 加	準備時	40m(MAX)		
	インターフェース	·	USB		
	体田周囲昭度	白熱灯	3000 l×		
		蛍光灯	3000 l×		
	太陽光		50,000 lx		
環境	使用温度		-5~+50℃		
	使用湿度		20~85%RH(結露無きこと)		
	保存温度		-20~+60°C		
	保存湿度		10~90%RH(結露無きこと)		

(注) 試験値であり、保証値ではありません。



動かしましょう

2-1 接続

Stream7-USB は、USB インターフェース対応機専用です。キーボード用インターフェースまたは、RS-232C インターフェースにはつながりません。ご注意ください。



Windows 2000 と Windows Me において、Stream7-USB を使用する際に、以下の注意点があります。以下に内容と対処法を記します。

●Windows 2000 に関する注意事項と対処法

Windows 2000 ServicePack1(以下 SP1)において Stream7-USB を使用する際、初回接続の後再起動する と、キーボードが 106 鍵盤の設定でも 101 鍵盤のキー配置となり、特殊記号についてのバーコードデータ、 キー入力に化けが発生します。これは USB キーボードデバイスを接続した場合の Windows 2000 SP1 の仕 様で、以下の手順により回避できます。なお、この設定は初回には必ず必要ですが、それ以降は不要です。

参照 本設定は、Windows 2000 SP2 から不要になりました。

操作手順

①「コントロールパネル」の「キーボード」をクリックします。

「ハードウェア」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

速度 入力ロケール ハードウェア	1
デバイス(D):	
名前	種類
〇〇〇日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl+英数)	キーボード
テバイスのノロバティー 東山浩二(連進を一ポード)	
新ためして「「「「」」、「」「」 ハードロップ ドジョン 利用できません	
(日本) 1017 7073 00/ED PCI to 100 buildes (100 mode)	
デビイン状態、コルデビインは正常に動化しています	
TYPI X4XBS CUTTYPI XI&IE HILBUTFULUE9.	
トラブルシューティング(①	プロパティ(B)
OK +++2	セル 道用(<u>6</u>)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

2 1

③「ドライバ」を選択し、「ドライバの更新」をクリックします。

日本語 PS/	2 キーボード (106/10	9 キー Ctrl+英数)のプロ/	নি	? ×
全般	^デ ライバ リソース			
	日本語 PS/2 キー	ポード (106/109 キー Ctr	+英数)	
	フロバイダ: 日付: バージョン: デジタル署名者:	Microsoft 1999/12/07 5.0.2195.1 Microsoft Windows 20	100 Publisher	
このデバ リックしま バイスの	イスで読み込まれたド す。このデバイスのドラ ドライバ ファイルを更新	ライバ ファイルの詳細を表。 イバ ファイルを削除するに するには、「ドライバの更新	示する(こは、「ドライ 、「所「家」 をクリック 」 をクリックします。	バの詳細] をり りします。このデ
[(ドライバの詳細の)		льея	の更新(P) キャンセル

④ デバイスドライバのアップグレード ウィザードが開きます。「次へ」をクリックします。

⑤右の画面が表示されます。「このデバイスの既知のドライ バを表示して、その一覧から選択する。」をチェックし、「次 へ」をクリックします。

⑥「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を選択します。その後、製造元を「(標準キーボード)」、モデルを「日本語 PS/2 キーボード(106/109 キーCtrl+英数」を選択

		1.9%	100000000	100 A 10	10,510	10.91///C - U		
ハードウェア デ デバイス ド ソフトウェア	デ バイス ドライバの ライバは、ハードウェ フログラムです。	(ンストール ・デバイスがオ	ペレーティン	グ システムで	正い動作	1252568	175	EUS
次のデバー	イスのドライバをアップ	グレードします						
Ì	日本語 PS/2 キ・	-ボード (106/	109 ¥- C	rH英数)				
デバイスの 加されます)ドライバを新しくパー す。	・ジョンにアップ	グレードする	と、このデバイ	スの動作が	句上したり、オ	儲能的	8
検索方法	を選択してください。							
Сź	バイスに最速なドライ	バを検索する	(推奨)(5)					
• D	のデバイスの既知の	られた表示	して、その	寬加ら違択す	3(D)			
				< 戻る(日)	(次へ)	<u>N) ></u>	<i>41</i>	ven
17.7 88.21500	a.⊐#1.∠k.o.#.	. 10						
ቦብ እኮታብ በወን	P>7グレード ウィザー	۰ĸ						
<mark>ናተኢ ኮታተ</mark> ጠው ቻ በተፈ ኮታተ ርወቻ ቦናተ	Poブグレード ウィザ・ (バの選択 Rucは、どのドライバを	-F :f)2F=JU	ますか?					22
<mark>ምለን የማ</mark> ለመን ታለብን የማብ ርመቻለና? 	Pっプグレード ウィザ (バの選択 RICは、どのドライバオ ウェア デバイスの契約	・ド ・インストールし 査元 <u>とモ</u> デルを	ますか? 選択して_D:	太八] を列の	してください。	·1>21-1	するドラ	
バイスドライドの デバイスドライ このデバイ: 	Pっプグレード ワィザー (パの選択 ALCは、どのドライバ秋 ウェア デバイスの製造 がある場合は、「ディク	・ド :インストールし む元とモデルを ひ使用1を20	ますか? 避択して 〔2 ックしてくださ	大、] を列ッジ い。	してください、	, TVZF-11	,95K;	HIVD:
バイスドライバの デバイスドライ このデバイ 	Pップグレード ウィザ (バの選択 Alcia, どのドライバイ ウェア デバイスの製込 後る場合は、「ディフ	・ド ・インストールし を元とモデルを クグ使用1をクリ	ますか? 選択して 〕 少してくださ	X시] 환경995 (1 ₀	いしてくだきい、	· インストール	するドラ	
バイスドライバの デバイスドライ このデバイ: ニーニ ハード バード ジェーニ イスグが 製造売(級):	Poブジレード ワイサー (バの選択 ALCは、どのドライバイ ALCは、どのドライバイ フェア・デバイスの戦ら 地を場合は、(ティ)	・ド :インストールし 5元とモデルを 50使用 をの モデルロ	ますか? 選択して 〔、 少してくださ 〕)	t시 호켓:95	してください。	- 1)21-n	,93 F3	¥715005
バイス ドライルの デバイス ドライ このデバイ: ニュ ハード イス分 秋道元(M): 愛知幸平一志一ド そert	Poブジレード ウィザー (パの選択 ALCは、どのドライバイ ALCは、どのドライバイ ためる場合は、「ティン 9)	ド インストールし 転行とモデルを クク使用しを対 モデルQ	ますか? 避祝して <u>し</u> 少してくださ)) 9 PC/AT 1	なへ] を切った い。 ロ キー互換	してください。 キーボード/ キーボード/	・インストール Microsoft N	するドラ atural l	HIV05
バイスドライ()の) デバイスドライ このデバイ: ベスカイ ベスカイ 秋道元(個) 「「「「二」、「一」、「一」、「一」、 ベスカイ ・ベード・ ・	P5プリード 9.47- パの選択 ALLE 20ドライバ ウェア デバイスの短 切る場合は、ドイン	ド インストールし たたモデルを ク使用1を27 モデルの ・ ・	ますか? 縦択して D. かりしてくださ PC/AT1 PS/2キ	な人] を切った い。 ロ1 キー互換的 ボード 008	してください。 キーボード/ /106 キー)	、インストール Microsoft N Microsoft N	.영중 ドラ atural l atural l	(eybo (eybo (eybo
バイスドライドの デバイスドライ このデドイ: 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	Pップジレード ウィザー / パの速訳 ALLL 2015-1/18 ウェア デバイスの知ら がある場合は、15-77	ド インストールし たとモデルを ク使用1を27 検田出出 検知出 開 転数	ますか? 避択してし ックリしてくださ)) PC/AT1 PS/2キー PS/2キー PS/2キー PS/2キー	xへJを切め い。 01 キー互換 ポード 003 ポード 003	NUてください。 キーボード/ オロ6 キー) 105 キー)	、インストール Microsoft N Microsoft N	.するドラ atural l atural l	(eybo (eybo (eybo
バイス ドライハの) デバイス ドライ このデバイン このデバイン マンクトード マンクトー マンクトード マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー マンクトー	Poブジレード ウイサー (バの選択 ALCLA、どのドライバ ウェア デバイスの設 がある場合は、ドイク 2	ド インストールし 新元とモデルを ク使用1を27 年 7 単 単 二 単 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	ますか? 違択してし シックしてくださ)) 9 PC/AT1 9 PS/2 キー 19/2 キー	な人]を切った い。 01 キー互換 ポード (108 ポード (108	NJ.てください。 キーボード/ イ106 キー) /109 キー)	, インストール Microsoft N Microsoft N	명종원5 atural l	(eybo.

⑦ドライバの更新警告が表示されます。ここで「はい」をクリックします。この後、コンピュータを再起動します。

●Windows Me に関する注意事項と対処法

初回のみ接続中に一度コントロールパネルを開く必要があります。なお、それ以降は不要です。

●接続機種に関する注意事項と対処法

し、「次へ」をクリックします。

Stream7-USBをIBM 製デスクトップ PC[NetVistaシリーズ」で使用される場合、Stream7-USBの接続が認識 されなくなる、またはキーボードの入力ができなくなる等の現象が発生することがあります。その場合、 NetVista について以下の設定を行う必要があります。

操作手順

- ① PC の電源を入れた後、IBM ロゴを表示中に F1 キーを押すと「装置構成ユーティリティー」(BIOS メニュー)が起動します。なお、この設定は Stream7-USB を接続しないで行ってください。
- ② 矢印キーで選択、Enter キーで確定しながら「デバイスと I/O ポート」→「USB の設定」→「USB キーボード/マウス」とメニューを進めます。
- ③「自動検出」を「しない」に変更します(デフォルトは「自動検出」となっています)。
- ④ESCキーを3回押して最初のメニューに戻ったあと設定を保存します。
- ⑤ 設定保存後、自動的に Windows が起動しますので、起動完了後 Stream7-USB を接続してください。

2-2 初期設定

出荷時には、あらかじめ「3-1 設定項目および初期設定」(P.3-2)に示される設定になっています。 各種設定を「初期設定」状態に戻したい場合には下の「初期設定」のバーコードを読んで初期状態にしてください。

表 2-1

初期設定状	態にします
①設定開始	
②USB	
③初期設定	
④設定終了	

2-3 基本動作

必ず「2-1 接続」(P.2-2)および「2-2 初期設定」(P.2-4)での接続と設定が終了してから次の動作を行ってください。

操作手順

- ①パソコンの電源を入れてください。
- ②アプリケーションソフトで「メモ帳」などを開き、文字入力状態にします。
- ③カーソルを「メモ帳」内に置き、バーコードを読取ってください(バーコードは、巻末のサンプルバーコードを お使いください)。

④ 読込んだバーコードが画面上に表示されれば基本動作の確認は終了です。



キーボードのキーを押しながらの操作は止めてください。 正しく動作しません。また、データが出力されない場合はパソコンの電源を入 れなおしてください。



各種条件の設定

3-1 設定項目および初期設定

Stream7-USB では「読取りコード」、「読取り設定」、「通信設定」の分類で設定ができます。設定項目および初期設定は表をご覧ください。

3-1-1 読取りコードと初期設定

表 3-1

コード	読取	桁数転送	C/D 計算	C/D 転送	スタート/	プリフィッ	サフィクッ
					ストップ	クス付加	ス付加
UPC-A	0	—	O*1	0	—	無し	無し
UPC-E	0	_	O*1	×	_	無し	無し
JAN/EAN-13	0	—	O*1	0	—	無し	無し
JAN/EAN-8	0	—	O*1	0	—	無し	無し
CODE-39	O*3	×	×	O*2	×	無し	無し
NW-7	O*3	×	—	—	×	無し	無し
インターリブド 2 of 5	O*4	×	×	O*2	—	無し	無し
CODE-93	0	×	O*1	X^{*1}	—	無し	無し
CODE-128	0	×	O*1	X^{*1}	—	無し	無し
EAN-128	×	—	—	—	—	-	-
定期刊行物コー ド(雑誌) (JAN-13 アドオ ンコード付)	Х	_	O*1	0	_	無し	無し



EAN-128 の読取り設定については第 4 章を、定期刊行物コード(雑誌)につ いては第 5 章をご覧ください。

上記以外のコード読取りおよび設定についてはご相談ください。

- C/D:チェックデジット
- ・ スタート/ストップ:スタート・ストップキャラクタを付けて転送

*1:この設定は、変更できません。

*2:この設定は、「C/D計算」が"O"の時のみ有効です。

*3:1桁は読取りできません。

*4:2桁は読取りできません。

3-1-2 読取り設定

表 3-2

NO	設定項目	初期設定
1	読取り桁数	桁数設定無し
2	読取り方式	単発読み
3	トリガーモード①	読取り時間優先
4	トリガーモード②	オートオフモード
5	読取り時間 *5	2秒
6	多段読み	使用しない
7	ブザー音量	音量 1(最大)
8	ブザー音	音2

*5:「読取り時間優先」の場合のみ有効。

3-1-3 通信設定

表 3-3

NO	設定項目	初期設定
1	終端コード送信	「ENT」を送信
2	送信速度	速度 1

3-2 設定の詳細

ここでは「3-1 設定項目および初期設定」(P.3-2)の各項目の詳細と設定変更の方法を説明します。

設定項目	項目番号(参照ページ)
読取りコード	
読取りコードの設定	3-2-1-1(P.3-6)
桁数転送の設定	3-2-1-2(P.3-8)
C/D(チェックデジット)計算の設定	3-2-1-3(P.3-10)
C/D(チェックデジット)転送の設定	3-2-1-4(P.3-11)
スタート/ストップキャラクタ転送の設定	3-2-1-5(P.3-13)
プリフィックスの付加の設定	3-2-1-6 (P.3-14)
サフィックスの付加の設定	3-2-1-7 (P.3-16)

読取り設定	
読取り桁数の設定	3-2-2-1 (P.3-18)
読取り方式の設定	3-2-2-2(P.3-19)
トリガーモード①の設定	3-2-2-3(P.3-20)
トリガーモード②の設定	3-2-2-4(P.3-21)
読取り時間の設定	3-2-2-5 (P.3-22)
多段読みの設定	3-2-2-6(P.3-23)
ブザー音量の設定	3-2-2-7 (P.3-24)
ブザー音の設定	3-2-2-8(P.3-25)

通信設定	
終端コード付加の設定	3-2-3-1(P.3-26)
送信速度の設定	3-2-3-2(P.3-28)

この章で示す設定は、いずれも以下の手順で行ってください。

設定開始のバーコードを読む。 ブザーが「ピッ、ピッ、ピッ・・・」と鳴り続けます。

 \downarrow

各種設定用のバーコードを読んでください。 ブザーが鳴っている間は、複数の設定用バーコードを 読んで同時設定が可能です。

 \downarrow

設定終了のバーコードを読んでください。 設定終了になるとブザーが鳴り止みます。

3-2-1 読取りコード

3-2-1-1 読取りコードの設定

表 3-4 では、設定したコード以外は読めなくなります。複数のコードを設定する場合は、まず表 3-4 で 1 種類のみ設定し、残りは表 3-5 で読みたいコードを追加設定してください。

表 3-4

各コードのみ設定します(設定 ★印はネ	したコード以外は読めません) 刃期設定
設定開始	
UPC のみ読取り	
JAN/EAN のみ読取り	
CODE-39 のみ読取り	
NW7 のみ読取り	
インターリブド 2of5 のみ読取り	
CODE-93 のみ読取り	
CODE-128 のみ読取り	
設定終了	

表 3-5 では、読取りを行いたいコードを追加していきます。

表 3-5

各コードごとに読 ★印は褚	取り可能にします 刃期設定
設定開始	
★UPC の読取り可	
★JAN/EAN の読取り可	
★CODE-39 の読取り可	
★NW7 の読取り可	
★インターリブド 2of5 の読取り可	R 8
★CODE-93 の読取り可	
★CODE-128 の読取り可	
設定終了	

●例

「CODE-39」と「NW-7」の2種類だけを読取り可能にしたい場合。 表 3-4 で「CODE-39 のみ読取り」を設定します。次に表 3-5 で「NW-7 の読取り可」を追加設定します。この 様な方法でこの2種類のコードだけ読取り可能に設定できます。

3-2-1-2 桁数転送の設定

表 3-6

200	
各コードごとに桁数を	転送する設定にします
設定開始	
CODE-39 桁数転送する	
NW-7 桁数転送する	
インターリブド 2of5 桁数転送する	
CODE-93 桁数転送する	
CODE-128 桁数転送する	
設定終了	

12 3-1

各コードごとに桁数を転送無しの設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
CODE-39 桁数転送無し	
NW-7 桁数転送無し	
インターリブド 2of5 桁数転送無し	
CODE-93 桁数転送無し	
CODE-128 桁数転送無し	
★全てのコードの桁数転送無し	
設定終了	

3-2-1-3 C/D (チェックデジット)計算の設定

表 3-8

各コードごとに C/D の計算をしない設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
★CODE-39 の C/D 計算しない	
★インターリブド 2of5 の C/D 計算しない	
設定終了	

表 3-9

各コードごとに C/D の計算をする設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
CODE-39 の C/D 計算する	
インターリブド 2of5 の C/D 計算する	
設定終了	

3-2-1-4 C/D (チェックデジット) 転送の設定

表 3-10

各コードごとに C/D を転送しない設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
UPC-A の C/D 転送しない	
★UPC-E の C/D 転送しない	
JAN/EAN の C/D 転送しない	
CODE-39 の C/D 転送しない (C/D 計算する時のみ有効)	
インターリブド 2of5 の C/D 転送しない (C/D 計算する時のみ有効)	
設定終了	



表 3-10 での「有効」とは設定変更可能という意味です。
耒	3-1	1
1X	J-1	

各コードごとに C/D を転送する設定にします ★印は初期設定		
設定開始		
★UPC-A の C/D 転送する		
UPC-E の C/D 転送する		
★JAN/EAN の C/D 転送する		
★CODE-39 の C/D 転送する (C/D 計算する時のみ有効)		
★インターリブド 2of5 の C/D 転送する (C/D 計算する時のみ有効)		
設定終了		

注意 表 3-11 での「有効」とは設定変更可能という意味です。

3-2-1-5 スタート/ストップキャラクタ転送の設定

表 3-12

各コードごとにスタート/ストップキャラクタ転送しない設定にします ★印は初期設定		
設定開始		
★CODE-39 のスタート/ストップキャラ クタを転送しない		
★NW-7 のスタート/ストップキャラクタ を転送しない		
設定終了		

表 3-13

各コードごとにスタート/ストップキャラクタ転送する設定にします ★印は初期設定		
設定開始		
CODE-39 のスタート/ストップキャラク タを転送する		
NW-7 のスタート/ストップキャラクタを 転送する		
設定終了		

NW-7:スタート/ストップ キャラクタ abcd/abcd を転送します。

3-2-1-6 プリフィックスの付加の設定

プリフィックスを付加したいコードを読み、別枠「3-3 英数字コード表」(P.3-33)から付加したい英数字データを出力する順番で読み最後に設定終了のバーコードを読んで設定終了です。付加できるプリフィックスは最大4桁です。

また、プリフィックスはそれぞれのコードごとに設定できます。

表	3-	14
1X	J-	14

各コードごとにプリフィックスを付加する設定にします ★印は初期設定		
設定開始		
UPC-A のプリフィックス		
UPC-E のプリフィックス		
JAN/EAN-13 のプリフィックス		
JAN/EAN-8 のプリフィックス		
CODE-39 のプリフィックス		
NW-7 のプリフィックス		
インターリブド 2of5 のプリフィックス		
CODE-93 のプリフィックス		

CODE-128 のプリフィックス	
設定終了	

表 3-15

すべてのコードのプリフィックスをクリアします ★印は初期設定		
設定開始		
★プリフィックスをクリア		
設定終了		

3-2-1-7 サフィックスの付加の設定

サフィックスを付加したいコードを読み、別枠「3-3 英数字コード表」(P.3-33)から付加したい英数字データを 出力する順番で読み最後に設定終了のバーコードを読んで設定終了です。付加できるサフィックスは最大 4 桁です。

また、サフィックスはそれぞれのコードごとに設定できます。

圭	2	т	6
衣	5-	L	υ

各コードごとにサフィックスを付加する設定にします ★印は初期設定		
設定開始		
UPC-A のサフィックス		
UPC-E のサフィックス		
JAN/EAN-13 のサフィックス		
JAN/EAN-8 のサフィックス		
CODE-39 のサフィックス		
NW-7 のサフィックス		
インターリブド 2of5 のサフィックス		
CODE-93 のサフィックス		

CODE-128 のサフィックス	
設定終了	

すべてのコードのサフィックスをクリアします ★印は初期設定		
設定開始		
★サフィックスをクリア		
設定終了		

3-2-2 読取り設定

3-2-2-1 読取り桁数の設定

●桁数を設定する方法

- ①表 3-18 の「桁数を設定する」を読みます。
- ② 設定したい桁数のバーコードを読みます。 桁数の設定は、2種類までできます。1種類のみしか設定しない場合は、同じバーコードを2回読んでください。

③設定終了を読んで設定が終了します。

桁数の設定は、CODE-39、NW-7、インターリブド 2of5 全てのコードに適用されます。

±	\sim	
王	- -	I X
1X	J-	I O

読取り桁数を設定します ★印は初期設定		
設定開始		
★桁数を設定しない		
桁数を設定する		
設定終了		

3-2-2-2 読取り方式の設定

・単発読み

トリガーを押してバーコードを読むとその時点でレーザーが消灯します。

・複数読み

レーザー点灯中であれば、続けてバーコードを読むことができます。 "レーザー点灯中"とは、「読取り時間優先」の場合は、設定した読取り時間内。「トリガー優先」の場合は、 トリガーを押しつづけている間のことを表わします。ただし、同じバーコードの場合は、レーザーを一旦バー コードから離す必要があります。

+	0 1	
秐	3-1	9

読取り方式を設定します ★印は初期設定		
設定開始		
★単発読み		
複数読み		
設定終了		

3-2-2-3 トリガーモード①の設定

「読取り時間優先」を選択の場合、「3-2-2-5 読取り時間の設定」(P.3-22)の設定をしてください。

・トリガー優先

トリガースイッチを押している間はレーザーが点灯しつづけ、スイッチを離すと消灯します。

	~ ~ ~	
夫	3-20	
10	5 20	

トリガーモード①の設定をします ★印は初期設定		
設定開始		
★読取り時間優先		
トリガー優先		
設定終了		



3-2-2-4 トリガーモード②の設定

本設定は、「3-2-2-3 トリガーモード①の設定」(P.3-20)で読取り時間優先に設定されている場合のみ有効です。

・オルタネートスイッチモード

トリガースイッチを押す毎にレーザー点灯、消灯を繰り返します。

表	3.	-2	1
衣	3.	-2	L

トリガーモード②の設定をします ★印は初期設定		
設定開始		
★オートオフモード		
オルタネートスイッチモード		
設定終了		

3-2-2-5 読取り時間の設定

この設定は、「3-2-2-3 トリガーモード①の設定」(P.3-20)で読取り時間優先の設定にされている場合にの み有効です。

ここで設定された時間は、バーコードを読取った時点からの時間です。

●例

2 秒に設定されている場合、何も読まないとレーザー点灯から2 秒でレーザーが消灯します。また、レーザー 点灯中にバーコードを読取るとタイマーがリセットされ、この時点から2 秒後にレーザーが消灯します。

読取り時間を設定します ★印は初期設定		
設定開始		
1秒		
★2秒		
4 秒		
6 秒		
10 秒		
設定終了		

3-2-2-6 多段読みの設定

設定された段数のバーコード読取りを終了した時点でデータを出力します。また、各バーコードの区切りは ","を出力します。

多段読みは、設定された時間内(「3-2-2-5 読取り時間の設定」(P.3-22)で設定した時間あるいは2秒のどちらか小さい方の時間です)に全段の読取りを終了しないと、それまで読込まれたバーコードデータはすべてクリアされます。その場合は、初めからやり直してください。

多段読みを設定します ★印は初期設定		
設定開始		
★使用しない		
2段		
3段		
4 段		
5段		
設定終了		



「EAN128 を使用する」に設定し、かつ多段読みの設定を行った場合、強制的 に EAN-128 読取り限定となります。

3-2-2-7 ブザー音量の設定

ブザー音量を設定します ★印は初期設定		
設定開始		
★音量1 (大)		
音量 2		
音量 3		
音量4(小)		
設定終了		

3-2-2-8 ブザー音の設定

ブザー音を設定します ★印は初期設定	
設定開始	
音 1	I BIBIB BIIIBI IIBI BIBI
★ 音 2	
音 3	
設定終了	

3-2-3 通信設定

3-2-3-1 終端コード付加の設定

●各終端コードごとに付加しない設定を行います。

全コードに終端コードを付加しない設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
「ENT」を付加しない	
「TAB」を付加しない	
「→」を付加しない	
設定終了	

●各終端コードごとに付加する設定にします。

それぞれ独立して付加します。

各終端コードの付加順は決まっており、全てのコードを付加した場合は、「ENT」、「TAB」、「→」の順番で付加されます。

全コードに終端コードを付加する設定にします ★印は初期設定	
設定開始	
★「ENT」を付加する	V R
「TAB」を付加する	
「→」を付加する	
設定終了	



3-2-3-2 送信速度の設定

アプリケーションソフトによっては、バーコードを読んだときにデータがかけることがあります。その場合は、送信速度を遅くしてください。

送信速度の設定 ★印は初期設定	
設定開始	
送信速度1(速い)	
★送信速度2	
送信速度 3	
送信速度 4(遅い)	
設定終了	

3-2-4 連続読取りモードの設定

- ・ 連続読取りモードは、バーコードを読取ってもレーザーが消灯せずに、連続してバーコード読取り状態になります。ただし、1度バーコードからレーザーを離さないと2度読みしません。
- ・ 読取り後、レーザーをバーコードから離して再び読取り可能になる時間は「2 度読み防止タイマー時間の設 定」で行います(表 3-32)。
- ・ 初期設定を行うと、「連続読取り」は解除されます。

3-30	
000	
	3-30

連続読取りモードの設定を行います ★印は初期設定	
設定開始	
連続読取りにする	
設定終了	

連続読取りモードの設定を解除します ★印は初期設定	
設定開始	
★連続読取りを解除する	
設定終了	

2 度読み防止タイマー時間の設定をします ★印は初期設定	
設定開始	
0.05 秒	
0.1 秒	
0.2 秒	
0.3 秒	
0.4 秒	
★0.5 秒	
0.6 秒	
0.05 秒	
設定終了	

表 3-32

3-2-5 USB バス消費電流の設定

- ・ USB バス消費電流はデフォルトで 500mA に設定しています。ただし、電源なしの USB-Hub 経由接続等の場合は、バス消費電流を 100mA に設定する必要があります。その場合は、「バス消費電流 100mA の設定」(表 3-33) で消費電流を変えてください。
- ・ デフォルト(500mA)に戻す場合は、「バス消費電流 500mA(デフォルト)の設定」(表 3-34)の設定を行ってく ださい。

バス消費電流 100mA の設定を行います ★印は初期設定	
設定開始	
100mA	
設定終了	

バス消費電流 500mA(デフォルト)の設定を行います ★印は初期設定	
設定開始	
★ 500mA	
設定終了	

3-2-6 レーザー照射方法の設定

レーザー照射方式の設定を行います。レーザー照射方式には「シングルスキャンモード」と「ラスタスキャンモード」があり、 以下のような違いがあります。

・シングルスキャンモード
印字品質の悪いバーコードを読ませた場合、読み取りに時間がかかる事があるが、誤読しにくい。
・ラスタスキャンモード

印字品質の悪いバーコードを読ませた場合、読み取り時間は早いが誤読する可能性は増える。

表 3-35

シングルスキャンモードの設定を行います ★印は初期設定	
設定開始	
シングルスキャンモード	
設定終了	

ラスタスキャンモードの設定を行います ★印は初期設定	
設定開始	
★ラスタスキャンモード	
設定終了	

3-3 英数字コード表

プリフィックスおよびサフィックスに付加する英数字コードです。

表	3-37
---	------

英数字コード表	
0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

英数字コード表	
9	
А	
В	
С	
D	
E	
F	
G	
Н	
Ι	
J	

英数字コード表	
К	
L	
М	
N	
0	
Р	
Q	
R	
S	
Т	
U	

英数字コード表	
V	
W	
Х	
Y	
Z	



EAN-128 読取り設定

本章は EAN-128 専用です。 他のコードの設定などには使用できませんのでご注意ください。

4-1 EAN-128 読取り設定

初期設定では、EAN-128は使用しないとなっています(EAN-128は読んでも通常の CODE-128 として出力されます)。 EAN-128を使用する場合は、出力形式により下の設定メニューコードを読んでください。

●「EAN-128 を使用する」

表 4-1

EAN-128 を使用するに設定します	
設定開始・終了	
出力形式 1	「4-3 出力形式 l の設定方法」 (P.4-6)参照
出力形式 2	
出力形式 3	

<出力形式1>

読取りデータからユーザーの指定する AI のデータフィールドのみを抽出し指定されたフォーマットで出力します。

AIは最大10種類まで指定でき、そのAI毎にヘッダ(最大2桁)、ターミネータ(最大2桁)を指定できます。 AIの中でデータの小数点位置を記している物があるが(AI310等)それについてはデータに小数点を付加 して出力します。

「出力形式 1」の設定方法については「4-3 出力形式1の設定方法」(P.4-6)をご覧ください。

<出力形式2>

読取りデータからデータフィールドのみ抽出して出力します。

<出力形式3>

先頭の FNC1を"]C1"に、それ以外の FNC1を GS (ASCII 1DH)に変換します。 その他のデータ (AI,データフィールド)は通常の CODE-128 と同様に出力します。



| 出力形式 3 では EAN-128 のデータ区切り位置を識別しないため、区切り文字 等の付加、必要データの抽出等は行えません。 EAN-128 ラベルフォーマット



●「EAN-128 を使用しない」

EAN-128を使用しない場合は以下のメニューコードを読んでください。 初期設定ではこの設定になっています。

表 4-2

EAN-128 を使用しないに設定します	
設定開始・終了	
EAN-128 を使用しない	

4-2 区切り文字の設定

以下のメニューコードを読んだ後に「4-5 直接入力コード表」(P.4-9)を読取ることにより0桁から2桁までの任意のデ ータを指定することができます。

表 4-3

区切り文字の設定を行います	
設定開始・終了	
データフィールド内のデータと データの区切り文字を設定	
エレメントストリングとエレメントスト リングの区切り文字を設定	
通常FNC1はデータとして出力しない がこれを設定することによりFNC1を この設定文字に置き換えます(2つめ以降 のFNC1のみ)	

出力形式1の設定については、「4-3出力形式1の設定方法」(P.4-6)をご覧ください。

区切り文字は2桁まで設定できるので直接入力コードを続けて2回読むと2桁の文字が付加されます。区切り文字の設定を初期化するには、「2-2初期設定」(P.2-4)を実行してください。

注意 初期設定を実行すると「EAN-128 は使用しない」になります。

処理の遅いホストの場合、データ欠けが起こる場合があります。 その場合は、以下のディレイを設定してください。

表┙	1-4
----	-----

ディレイタイムを設定します ★印は初期設定	
設定開始・終了	
★区切り文字後送信ディレイ =0msec	
区切り文字後送信ディレイ =10msec	
区切り文字後送信ディレイ =20msec	
区切り文字後送信ディレイ =30msec	
★区切り文字後送信ディレイ=1 倍	
区切り文字後送信ディレイ=2 倍	
区切り文字後送信ディレイ=3 倍	
区切り文字後送信ディレイ=4 倍	

4-3 出力形式1の設定方法

表 4-5

出力形式 1 の設定を行う ★印は初期設定		
設定開始・終了		
出力形式 1 の設定		



操作手順

①初めに表 4-5 の設定開始・終了のメニューコードを読み下の出力形式1のメニューコードを読んでください。

- ②希望する出力順に表 4-6 メニューコードを読ませます。設定可能 AI 数は最大 10 個までで、設定したい回数 分 A~C を繰り返し行ってください。
 - A: すべての AIに 1 対 1 に対応するメニューコード(/****)(「4-6 出力形式 1 設定用コード」(P.4-31) 参照)を読んでください。
 - B: ヘッダの設定を行います。直接入力コードラベルを読んでください。 最小 0 桁から最大 2 桁までのヘッダを設定できます。 桁数毎の必要設定メニューは「表 4-6」の通りです。
 - C:ターミネータの設定を行います。直接入力コードラベルを読んでください。 最小0桁から最大2桁までのヘッダを設定できます。 桁数毎の必要設定メニューは「表4-6」の通りです。
- ③出力させたい全ての AI とターミネータを設定した時点で「設定開始・終了」のメニューコードを読んで終了させてください。

設定桁数	内容	設定
0桁	右のバーコードを2回読む	
1 桁	任意の直接入力コードラベル l つと右の バーコードを l 回読む	
2 桁	任意の直接入力コードラベル2つを読む	

桁数設定用メニューコードは、直接入力コードラベル表の各頁上段にもあります。

4-4 その他の設定

その他の設定 ★印は初期設定		
設定開始・終了		
★YYMMDD 中の DD の表示 = YYMMDD をそのまま出力		
YYMMDD 中の DD の表示 = DD=00 ならば DD を出力しない		
★EAN-128 出力形式 l の時に AI が見つ からなければヘッダ、ターミネータ、エレ メントストリングセパレータを出力する		
EAN-128 出力形式 l の時に AI が見つか らなければヘッダ、ターミネータ、エレメ ントストリングセパレータを出力しない		
★プレデファインドレングス AI 以外のデ ータフィールドが固定長のエレメントス トリング(例 AI 8005)を可変長として 扱う		
プレデファインドレングス AI 以外のデー タフィールドが固定長のエレメントスト リング(例 AI 8005) c を固定長として 扱う。また、その AI 直後のフィールドセ パレータは出力しない		
★CODE-128 から EAN-128 への変換が できない時、何も出力しない		
CODE-128 から EAN-128 への変換がで きない時、CODE-128 として出力する		

4-5 直接入力コード表

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Ctrl + A	
Ctrl + B	
Ctrl + C	
Ctrl + D	
Ctrl + E	
Ctrl + F	
Ctrl + G	
Ctrl + H	

設定開始・終了	
設定桁数 0桁→2回、1桁→1回、 2桁→下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
Ctrl + I	
Ctrl + J	I IIII IIII IIII IIIIIIIIIIIIIIIIIIII
Ctrl + K	
Ctrl + L	
Ctrl + M	
Ctrl + N	I IIII IIII IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII \$ 0 E
Ctrl + O	\$ 0 F
Ctrl + P	
Ctrl + Q	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Ctrl + R	
Ctrl + S	
Ctrl + T	
Ctrl + U	
Ctrl + V	
Ctrl + W	
Ctrl + X	
Ctrl + Y	
Ctrl + Z	
設定開始・終了	
--	--
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Ctrl + [
Ctrl + ¥	
Ctrl +]	
Ctrl + ^	
Ctrl + _	
スペース	
!	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
"	
#	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	1 111 111 111 1111 1111 1111 \$ 0 0
キャラクタ	メニューバーコード
\$	
%	\$ 2 5
&	
,	
(
)	
*	
+	↓ ₩ ₩₩ ₩ ₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩ \$ 2 В
,	

設定開始・終了	
設定桁数 0桁→2回、1桁→1回、 2桁→下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
-	
	₩ ₩₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ \$ 2 E
/	1 111
0	
1	
2	
3	
4	
5	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
6	
7	
8	
9	
:	
,	
<	
=	
>	

設定開始・終了	
設定桁数 0桁→2回、1桁→1回、 2桁→下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
?	\$ 3 F
@	
А	
В	
С	
D	
Е	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
F	
G	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Н	
Ι	
J	
K	В В В В В В В В В В В В В В В В В В В
L	
М	
Ν	
0	
Р	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Q	
R	
S	
Т	
U	
V	
W	
X	
Y	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Z	
[
¥	\$ 5 C
]	\$ 5 D
^	
_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
`	
a	
b	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
С	
d	
е	
f	
g	$ \begin{array}{c} \bullet \\ \bullet $
h	
i	
j	
k	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
1	
m	
n	
Ο	
р	
q	
r	1 111 \$ 7 2
S	
t	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	\$ 0 0
キャラクタ	メニューバーコード
u	***
V	
W	
X	
У	
Z	
{	ана ана ана ана ана ана ана ана
}	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
~	
F1	
F2	
F3	
F4	
F5	
F6	1 111 1
F7	
F8	

設定開始・終了	
設定桁数 0桁→2回、1桁→1回、 2桁→下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
F9	
F10	
F11	
F12	
Esc	
Tab	
Enter	
BackSpace	
→ (Right Arrow)	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1
キャラクタ	メニューバーコード
$\leftarrow (\text{Left Arrow})$	
↑ (Up Arrow)	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
↓ (Down Arrow)	\$ 9 F
Right Ctrl(実行)	
Keypad Enter	
Keypad 1	ІІІІ ІІ ІІІІ ІІІІ ІІІІ \$ в О
Keypad 2	
Keypad 3	
Keypad 4	

設定開始・終了	
設定桁数 0桁→2回、1桁→1回、 2桁→下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
Keypad 5	
Keypad 6	
Keypad 7	Т П П П П П П П П П П П П П П П П П П П
Keypad 8	Т П П П П П П П П П П П П П П П П П П П
Keypad 9	
Keypad /	
Keypad *	
Keypad -	
Keypad +	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1
キャラクタ	メニューバーコード
Keypad 0	
Keypad .	Т В В В В В В В В В В В В В В В В В В В
Alt + @	
Alt + A	
Alt + B	
Alt + C	
Alt + D	
Alt + E	
Alt + F	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Alt + G	
Alt + H	s s
Alt + I	
Alt + J	
Alt + K	Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т Т
Alt + L	
Alt + M	
Alt + N	
Alt + O	

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Alt + P	
Alt + Q	
Alt + R	
Alt + S	
Alt + T	
Alt + U	
Alt + V	
Alt + W	
Alt + X	

4-5 直接入力コード表

設定開始・終了	
設定桁数 0 桁→2 回、1 桁→1 回、 2 桁→下のコードを 2 回	
キャラクタ	メニューバーコード
Alt + Y	
Alt + Z	
Alt + [\$ D В
Alt + ¥	
Alt +]	
Alt + ^	\$ D E
Alt + _	\$ D F

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
00	×	
01	×	
02	×	
10	0	
11	×	
12	×	
13	×	
15	×	
17	×	

4-6 出力形式1設定用コード

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
20	×	
21	0	
22	0	
23L ※1	× (データフィールド長= 2L+1 例.231 なら 2×1+1=3)	
240	0	
241	0	
250	0	
251	0	
30	0	
310D ※ 2	×	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
311D ※2	×	
312D ※ 2	×	
313D ※ 2	×	
314D ※ 2	×	
315D ※ 2	×	
316D ※ 2	×	
320D ※ 2	×	
321D ※ 2	×	
322D ※ 2	×	
323D ※ 2	×	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
324D ※ 2	×	
325D ※ 2	×	
326D ※ 2	×	
327D ※ 2	×	
328D ※ 2	×	
329D ※ 2	×	
330D ※ 2	×	
331D ※ 2	×	
332D ※ 2	×	
333D ※ 2	×	

設定開始・終了			
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード	
334D ※ 2	×		
335D ※ 2	×		
336D ※ 2	×		
337D ※ 2	×		
340D ※ 2	×		
341D ※ 2	×		
342D ※ 2	×		
343D ※ 2	×		
344D ※ 2	×		
345D ※ 2	×		

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
346D ※ 2	×	
347D ※ 2	×	
348D ※ 2	×	
349D ※ 2	×	
350D ※ 2	×	
351D ※ 2	×	
352D ※ 2	×	
353D ※ 2	×	
354D ※ 2	×	
355D ※ 2	×	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
356D ※ 2	×	
357D ※ 2	×	
360D ※ 2	×	
361D ※ 2	×	
362D ※ 2	×	
363D ※ 2	×	
364D ※ 2	×	
365D ※ 2	×	
366D ※ 2	×	
367D ※ 2	×	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
368D ※ 2	×	
369D ※ 2	×	
37	0	
390D ※ 2	0	
391D ※ 2	0	
392D ※ 2	0	
393D ※ 2	0	
400	0	
401	0	
402	0	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
403	0	
410	×	
411	×	
412	×	
413	×	
414	×	
415	×	
420	0	
421	0	
422	0	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
8001	0	
8002	0	
8003	0	
8004	0	
8005	0	
8006	0	
8007	0	
8018	0	
8020	0	
8100	0	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
8101	0	
8102	0	
90	0	
91	0	
92	0	
93	0	
94	0	
95	0	
96	0	
97	0	

	設定開始・終了	
AI	フィールドセパレータ (FNC1)	メニューバーコード
98	0	
99	0	

※1 このLはレングスを表しています

※2 このDは小数点位置を表しています



定期刊行物コード(雑誌)の読取り設定

5-1 定期刊行物コード(雑誌)の読取り設定

本章では、定期刊行物コード(雑誌)に関する設定について説明します。

●定期刊行物コード(雑誌)とは

雑誌用バーコードのコード体系が、2004 年 6 月より従来の「共通雑誌コード」から「定期刊行物コード(雑誌)」へ変更されました。この定期刊行物コードは、先頭 3 桁が「491」固定の 13 桁 JAN コードと 5 桁のアドオンコードで構成されます。

5-1-1 定期刊行物コードの読取り設定

- ・定期刊行物コード読取り可 「491」で始まる JAN-13 は 5 桁のアドオンコード付きのみを読取ります。
- ・ 定期刊行物コード読取り禁止
 「491」で始まる JAN-13は5桁のアドオンコード付きでもアドオンコード無しとして読取り、JAN-13として出力します。

表 5-1

定期刊行物コードの読取りを設定します ★印は初期設定		
設定開始		
定期刊行物コード読取り可		
★定期刊行物コード読取り禁止		
設定終了		

5-1-2 定期刊行物コードの C/D (チェックデジット) 転送設定

定期刊行物コードの C/D 転送の設定は「3-2-1-4 C/D(チェックデジット)転送の設定」(P.3-11)の「JAN/EAN」にて設定を行います。

5-1-3 定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックス付加の設定

定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックスの付加について設定します。

設定方法については「3-2-1-6 プリフィックスの付加の設定」(P.3-14)および「3-2-1-7 サフィックスの付加の設定」 (P.3-16)と同様です。

表 5-2 の「定期刊行物コードのプリフィックス」、「定期刊行物コードのサフィックス」のバーコードをコード指定に使用して 設定を行ってください。

表 5-2

定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックスを設定します ★印は初期設定		
設定開始		
定期刊行物コードのプリフィックス		
定期刊行物コードのサフィックス		
設定終了		

この設定は定期刊行物コード読取り時に有効となります。

定期刊行物コード読取り禁止により JAN-13 として扱われた場合は「3-2-1-6 プリフィックスの付加の設定」(P.3-14)および「3-2-1-7 サフィックスの付加の設定」(P.3-16)で「JAN/EAN-13」に設定した内容が付加されます。



付録


NW-7



CODE39





CODE39(C/D 付き)





JAN13





JAN8





UPC-E

0



インターリブド 2of5



インターリブド 2of5(C/D 付き)

2



CODE128



EAN-128







USB レーザーリーダー Stream7-USB ユーザーズマニュアル

2007年3月 第3版 発行 Copyright©2005 Welcat Inc.

株式会社ウェルキャット

http://www.welcat.co.jp/ info@welcat.co.jp

M03STREAM7USB